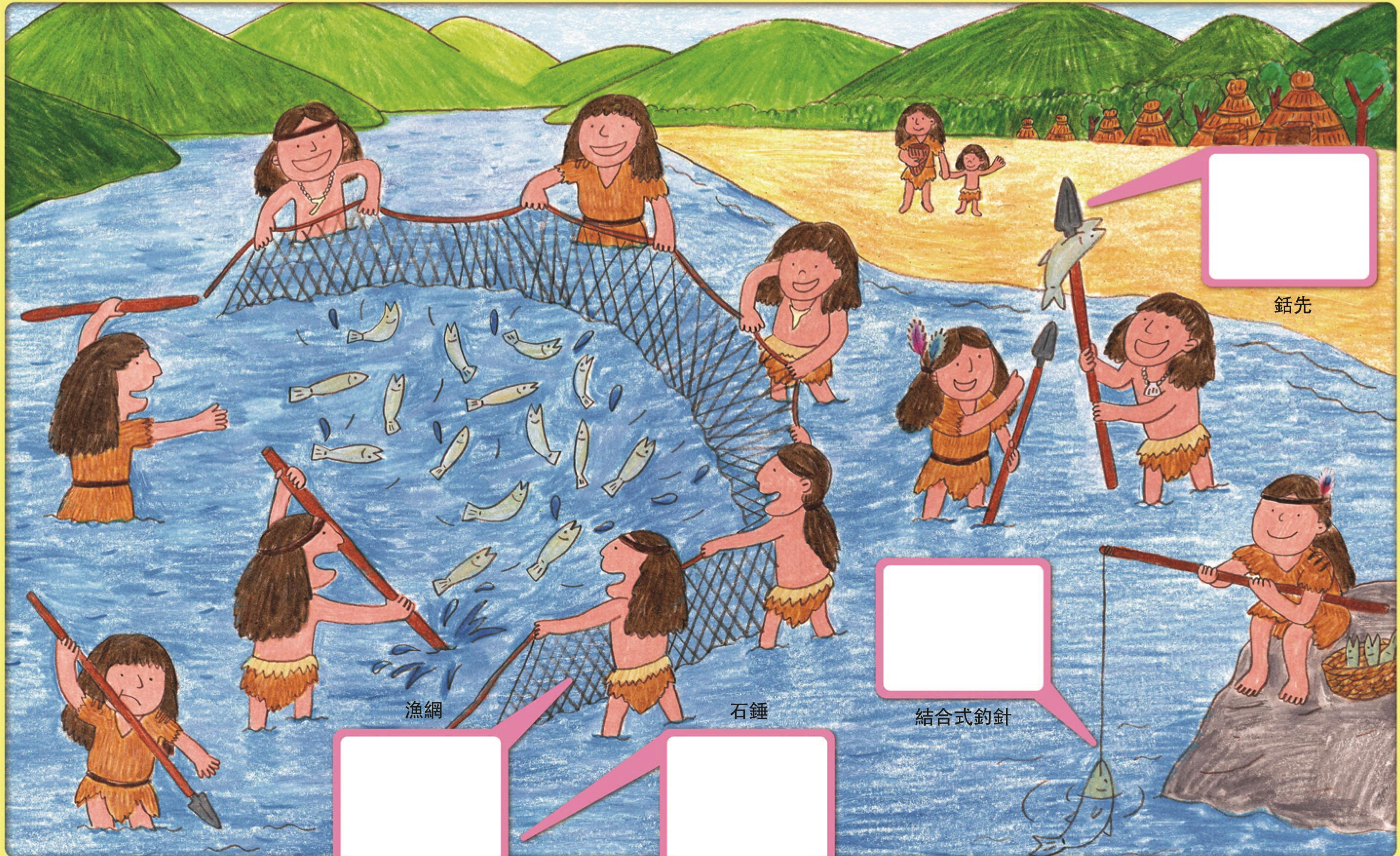


先史時代の人たちはどのような暮らしをしていたのでしょうか？

新石器時代

紀元前6000年頃で、農耕と牧畜の始まり・土器と磨製石器の使用という特徴が現れた時期です。主に川や海辺の近くに竪穴のような住居が発達し、食べ残った食材を保管したり調理するための土器が登場しました。まだ農耕は初期段階で、狩猟と共に釣りや網・銚・筥などを利用した漁労が新石器時代の生活の中心となっていました。



[Blank box for label]

銚先

[Blank box for label]

結合式釣針

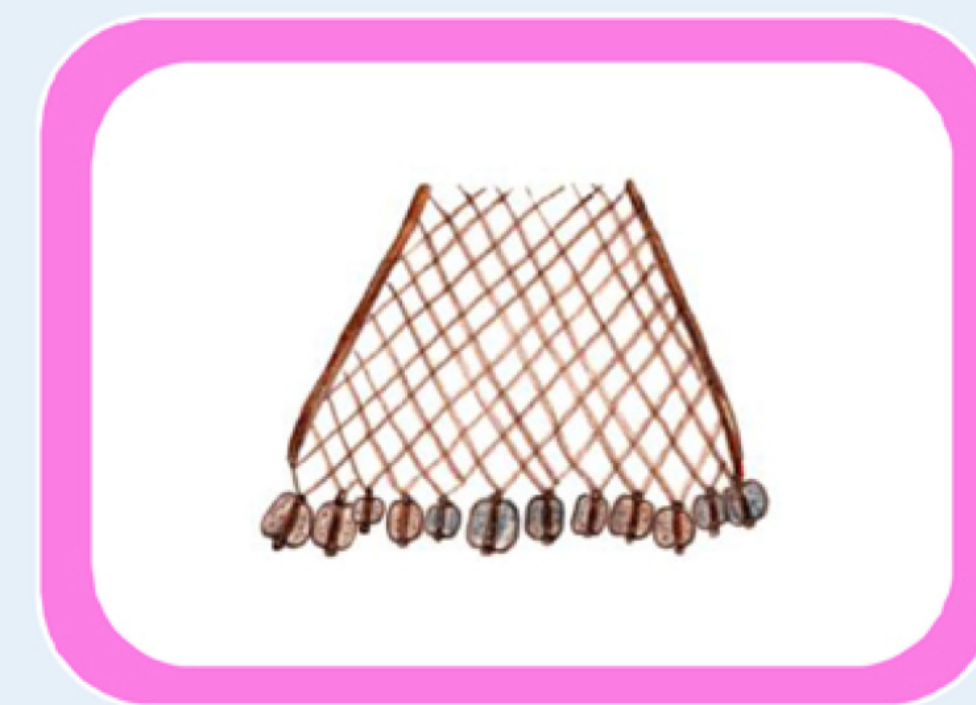
[Blank box for label]

[Blank box for label]

漁網

石錘

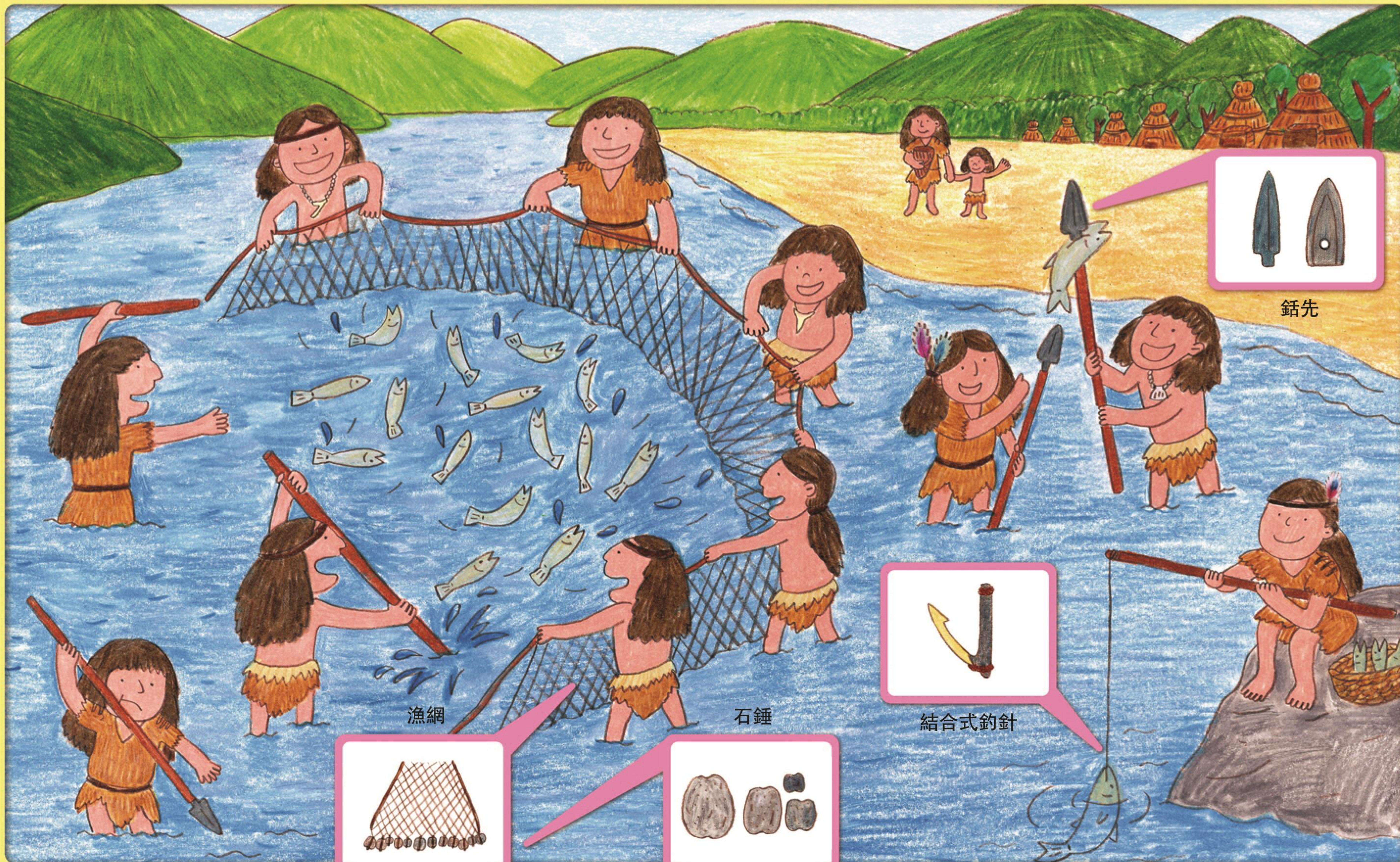
シールを切って、貼ってみましょう。



先史時代の人たちはどのような暮らしをしていたのでしょうか？

新石器時代

紀元前6000年頃で、農耕と牧畜の始まり・土器と磨製石器の使用という特徴が現れた時期です。主に川や海辺の近くに竪穴のような住居が発達し、食べ残った食材を保管したり調理するための土器が登場しました。まだ農耕は初期段階で、狩猟と共に釣りや網・銚・筥などを利用した漁労が新石器時代の生活の中心となっていました。



銚先



結合式釣針



漁網



石錘